

## みらいの学び舎シンポジウム 参加者のご感想

11月23日(木)に開催いたしました、「みらいの学び舎シンポジウム」では参加者76名と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

当日皆さまからお寄せいただきました、アンケートを共有させていただきますので、是非ご覧ください。

なお、内容につきましては、原則原文のままとさせていただいておりますが、個人情報に関連する内容や誤字等、修正をさせていただいておりますので、ご了承ください。

No.	年代	ご感想
1	50 歳代	<p>E4 の学生さんの話が非常に印象的でした。こういった場で自分の思いが語れるそんな子どもを育てていきたいと改めて思いました。</p> <p>地域のランドマークとして学校があること、考えて動いていかないと急には変わらないと思いました。</p>
2	40 歳代	<p>今日は一般も参加型でみんなで未来の学び舎はどんな風になっていくと良いか？どんな風にしたいか？子どもは何を求め、どのように吸収し学び得ていくのか？等をみんなでトークディスカッションしたりアイデアを出し合ったり、考えていく場なのかと思ひ参加しました。</p> <p>来てみて全く違っており、ひたすら話しを聞くのみだったので、そうではなくてもっと地域や周りを巻き込んだ学校にしてくるのであれば、考えて作っていく段階でもっと一般の興味関心ある人を一緒に参加型にしてほしいと思ひました。そういった場を沢山つくり、一緒に作り考えていけたら良いと思ひますので、お願いしたいと思ひます。後ろの中学生の未来の学校づくりについて話し合った物の様に、一部の方、選ばれた方のみではなく、みんなで考え話し合っていきたいですね。</p> <p>今の現場にはまだまだ教育長や皆さんの考える未来の学びや想いとはギャップがあり、もっと浸透して伝わり、みんなでそういった雰囲気になっていったら、本当の子どもファーストな学び舎になっていったらと願ひます。これからもよろしく願ひします。ありがとうございました。</p>
3	40 歳代	<p>みんながこころ良くすごせる場であることが大切。他学年との交流、地域との関わり、校内カフェがあると良い。</p> <p>大切なのは子どもたちが真ん中にいて、その子どもたちに関わる大人たちの存在も忘れてはいけないと思ひました。</p> <p>大人が毎日、心地よく過ごせていることで、子どもも安心して楽しく過ごせる、不登校の子たちが増えている現在、ハード面ソフト面から大人が本気で学びの場を変えていかないといけないと思ひます。</p> <p>また、学ぶ場は学校だけでないこと考えてほしい。全ての子の学びをとめないよう考えていってほしいです。</p>

4	50 歳代	<p>シンポジウムでは、様々なお立場の皆さんから貴重なお話を伺うことができました。何より安心な居場所となる学び舎を作っていくことが必要だと感じました。</p> <p>また、地域のことを子ども達が学んでいくことで、愛着をもってこの地域で育っていく、働いていくという気持ちになってくれたら嬉しいと思います。</p>
5	40 歳代	<p>地域一体の学校づくりとてもステキです。広域から来るためのインフラも必要になるかと思います。実現出来るのを楽しみにしています。</p>
6	50 歳代	<p>大変にワクワクする会でした。参加させて頂きありがとうございました。</p> <p>新しい学校、どのようにいくのか、私も考え子どもたちの笑顔を思い浮かべながら自分の立場で出来ることからはじめていきたいと思います。</p>
7	30 歳代	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>様々な方面から話を伺うことができ、これからこの地域で子育てしていく母として、今後の秦野が楽しみになりました。</p> <p>今の時代、様々な事情をもった子がいると思います。</p> <p>どの子ども楽しく通える学校になるといいなと思います。</p> <p>これからを担う子をもつ母たちにも意見を聞いていただける場を設定していただけるとありがたいです。</p>
8	40 歳代	<p>学校という幅が狭いものと思っていましたが、こんなにも色々な可能性があるんだということが分かりました。</p> <p>今後、一般の人話し合いに参加できると良いなと思いました。子供も一緒に関わっていく機会にもなるのかなと。</p> <p>第2回、3回と続けていってもらえると。と思います。</p> <p>今日はありがとうございました。</p>
9	10 歳代	<p>小学校と中学校が合体すると、避難場所が減ることになると思う。少子高齢化の社会だと避難場所が沢山あるといいと思う。</p> <p>子どもからすると、もっと地域との交流を授業に取り入れるべきだと思う。やっぱり放課後には限界があるし、中学生にもなると授業が長すぎて、地域との交流をする暇がない。校舎も大事だが、一番大事なのは学ぶ内容だと思う。また、子どもに学ぶ場所は学校だけではないときちんと伝えてほしい。</p> <p>休むことが「ずる休み」と言われている間は何らかの理由で学校に行っていない人が少しだけ行くということが難しい。行くまでのハードルが高くなることに繋がると思う。子どもファーストは今の現状は 10%くらいだと思う。</p>
10	50 歳代	<p>市の考えがよくわかりました。様々な立場の方の意見を聞くことは大事だと思いました。</p> <p>特に若い方の意見にはしっかりと耳を傾けるべきだと思いました。</p>
11	50 歳代	<p>老朽化少子化の話は本当に実感しています。</p> <p>施設面の安全確保と同時に少子化による職員の減少は業務の多忙化につながり「明日行きたくなる学校」から離れていっています。</p>

		<p>地域の方の教育力を活用するための制度や設備の統合が必要であると思います。しかし、その為には授業以外の業務がさらに職員に課せられては、本末転倒だと思います。</p> <p>子どものために学校、地域のための学校、働く職員のための学校をみんなで作っていくために、CS(コミュニティ・スクール)があるのではないのでしょうか。</p> <p>ただし、どんなにより取り組みや意見があってもそれに必要な費用が認められなければ、実現は難しいと思います。教育にはお金がかかります。雨もり対策もそうですが、一人一台端末も故障、破損、老朽化もあり、十分に活用できなくなっています。ぜひ魅力ある学校作りのために行政の力添えをお願いします。</p>
12	40 歳代	<p>学校教育制度の利点について学びました。</p> <p>グループでの話し合いで研究員の方から秦野市で実施するとしたら…の視点は学びとなりました。</p> <p>最適値、納得解を重ねながら進めていきたいと思っています。</p>
13	50 歳代	<p>地域とともに学校作り</p> <p>地域の人、PTA、先生たちの考えからのズレ</p> <p>何かしたくても、まずお金がない。PTA、親にもっとコミュニティスクールを理解してもらわないと地域とともに学校作りはむずかしい。</p>
14	50 歳代	<p>みらいの学び舎について大変勉強になりました。</p> <p>意識が変わるとともに今後何を考え何をしていくべきか、大きな課題を受けた気がします。</p> <p>「大好きな秦野」と子どもたちが生涯言えるように、そして、地域と共に協力し大人も子どもも幸せになれるようこの課題について前向きに考えていきたいです。</p> <p>義務教育学校の必要性も感じる事ができました。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
15	50 歳代	<p>これからの学校づくりにおいては、若い人たちの意見を取り入れて居心地の良い「学び舎」をつくってほしいです。</p>
16	50 歳代	<p>ディスカッションでは違った立場からのお話がお聞き出来てよかった。様々な角度からみることが大切と考える。</p> <p>子どもたちの10年先、20年先を想像する大切さ、そのために今できることを考える大切さを感じた。</p>
17	60 歳代	<p>本日は、遅れて来ましたので佐藤教育長のご講演のみ聞かせていただきました。</p> <p>ICT教育がツールだけではなく未来のために「こどもファースト」で進められていること、うれしく感じています。</p> <p>益々、学びの場は教育者の方々にとって、難しくなっていくかもしれませんが楽しみながら進めていただくことをお願いいたします。</p>
18	30 歳代	<p>夢のある改革の話だと思い、ワクワクして聞きました。</p> <p>しかしながら、夢すぎる話であるにも関わらず、老朽化少子化という急務だと感じ</p>

		<p>ることができました。</p> <p>義務教育学校は働き方改革に対して、有用であることは山口校長の話から理解できましたし、後押ししたいと思います。話の内容として学校、教職員にフォーカスされていて、もっと子どものメリットが知りたいです。</p> <p>小野さんの話でロールモデルとありましたが、悪い面も多々見えると思います。高学年者のケンカ、タバコなどもそうでしたし、登下校時にルールを守らないなど、フォローすべきことが倍増するとも考えています。結局慎重になりすぎてタイムリーにできないこともリスクです。</p> <p>今日残念なことは、教育課、教育長の山口校長への態度でした。結局年間スケジュールの中のイベントであって、ここから何か得ようという感じではありませんでした。</p>
19	50 歳代	<p>ディスカッション、義務教育学校制に関して興味深く伺いました。我が子は中高一貫のそれでした。大いなる効果を感じました。しかし、小中一貫を考えると多くの疑問を抱きます。</p> <p>小学校内だけでも、6歳児と12歳児の行動力、集中力、登下校がかなり違います。年齢を経ることによる交流仲間の変化、学び舎の違いも個々にとって大きな刺激。</p> <p>教師の仕事量分担に関し、まずは今の複雑化した仕事を整理すべきと切に感じます。(本当に子どもファーストか。)</p> <p>地域交流に関しては総論は美しいのですが、固定化には疑問点も。学校の学習目的、携わっていただくことを明確にしないと逆効果かと。</p> <p>民間との融合は考えてゆく価値ありだと思います。スポンサーのようになっている国もありますよね。学校へ民間資本を導入すべきだと考えます。</p> <p>建物内の複合化に関して、これは建替えた上での話でしょうか。学校の2足制が意外とネックになると感じます。(1足制にして、作法をそれに沿わせてゆけばと思っていますが)</p> <p>個別最適な学びに関して、廊下での授業OKは画期的です。</p> <p>教室に入れなくて叱られる子も減ります。</p> <p>教育長さんの「わかる人手上げてはやめて」が今日もっとも心に残った格言です。</p>
20	未記載	<p>1) “仏をつくって魂入れず”という言葉がありますが、どんな複合施設であっても、しっかりとした人材を配置していただきたい。</p> <p>2) 老朽化の話で、小・中学校に建て替えに係る費用約 531 億円とのことであるが、国庫補助などの分を入れて説明していただいた方がよいと思います。</p> <p>また、一斉に建て替えの時期というのは機械的な話になってしまいます。構造劣化度によって、微妙に異なり、さらにスライドして「計画」や「改修修繕方法」によって変わってくると思います。</p> <p>以上のようなことを配慮していただきたいと思います。</p>
21	40 歳代	<p>〈これからの学校〉</p> <p>ハード面(建物、教室の形など)を整えても、中身が大事。</p> <p>例えば、教室のスタイルの変更に先生方は対応できる？</p>

		<p>地域との関わりと言っても平日いるのはほぼシニア世代 みんな保護者世代は仕事。関わり方とは具体的に？ 大人の考える「学校」「良い教育」と、子供達が期待する、それらのギャップはないか？ 「〇〇をして楽しいことをしよう」「〇〇を知ってもらおう」と大人が思っていることも 時として子供にとってはそうでないことが多い。 質疑応答の時間をとって、市内の色々な方の意見をもっと聞きたかった。学校を充実 させようというような内容がディスカッションで多かったが、一方で教員の働き方につ いての課題もある。疲れきっている先生たちが新しい学校を作るモチベーション、 パワーはあるの？ 理想と現実のバランスを広い視野で見るべき。</p> <p>「学校は安心の場」本当にそう？内面的なことだと戦う場、がまんする場、何かにおび える場になってない？</p> <p>教育長様の考える秦野のポテンシャル、秦野ふるさと科？⇒子供たちが学びたい の？子供ファーストとは？過去より未来を見て！</p>
22	60 歳代	<p>学校のあり方、教室づくり、地域とつながる、居場所作り、ワクワクできる情報でし た。 義務教育学校をめざし、居場所づくりの建設に期待します。 学校を出たあとの地域へのつながりの必要性改めて感じました。 学校は安全な場所、そのところは一番大事なところだと感じました。</p> <p>学び舎に期待します。 教育長先生のお話とても深く感動しました。 秦野の教育は明るい未来になるとなっほしいと思います。</p>
23	60 歳代	<p>ディスカッションでそれぞれの立場の方の意見、考えを聞けてよかったと思いま す。 これからも多くの方の意見、考えが出ると思いますが、子ども達の事を第一に考え て、先生、保護者、地域が協力してすばらしい未来の学び舎ができる事を期待してい ます。</p>
24	40 歳代	<p>子を持つ親の一人として、秦野市の学校に未来を感じました。 内容も分かりやすかったです。</p>
25	30 歳代	<p>・老朽化、緑の管理、学び方の変化 少子化に伴う公務分掌負担(先生ひとりあたり)の増加への対処(先生が子どもの 数に応じて配置される一方、公務は固定費のように対して減らず、むしろ時代の要請 (?)で増えたため?)、PTAの負担などが、現状、学校の課題にあることが分かりま した。 ・学校が地域の中で輝く為には、子どもの安全や練られたカリキュラムを損なうこと</p>

		<p>なく、地域の力をとり入れたり、地域に力を与えたりする必要があり、地域Cはその調整弁のような役割を担っているように理解しました。これからの要は地域Cだと思いました。</p> <p>・老朽化への(更新までの)対応や、緑の管理について、協力してもらえる人を地域Cの方を通して教育委員会の外部(地域)に求めてはどうかと考えました。何が歓迎され、何はどのように困るのか、学校の中は特殊なので、外からはわからず、申し出が却って迷惑になるのではとためらうこともあります。</p> <p>・給食を税投入なし(でも儲けもなし)で提供してくれる、入りやすいレストランを併設してくれたなら、夕食を食べに来る人が集まると思います。秦野駅の丹沢日和カフェでは980円で少しお高いですが…メニューもその日の給食と同じだととても魅力的です。などとても未来の学び舎の夢を感じるシンポでした。</p> <p>・教育長の語りがクリアで、頼もしくわかりやすかったです。理念の提示の体現ですね！ありがとうございました。</p>
26	20 歳代	<p>「明日行きたくなる学校」として、生活の面も是非重視していただきたいので、少し述べさせていただきます。</p> <p>安心安全であるには、子どもにとって第2の生活の場である学校の生活機能も重視すべきかなと考えております。子どもにとっての安心と多様な立場を理解できる社会力を育む設備は学校でしかできません。</p> <p>例として出させていただくのは“生理の貧困”。2021年の厚労省の調査では9人に1人の子どもが“なんらか(経済的理由など)の理由で生理用品が手に入れられなかった”と回答しています。</p> <p>子どもには様々なバックグラウンドをもちます。家庭の様々な理由で購入できないなら、どう子どもは対処するのでしょうか。生理は身体女性の人には必ず起きます。</p> <p>排泄と同じ人間の体に必ず起きることなのに、トイレトペーパーはあるのに生理用品がないのはなぜでしょう。生理用品は自分で買わなきゃいけないという価値観が生活で男女共に自然の植えられてしまっています。生理の貧困に限らず、学校という場合は安心して生活できる場、多様な立場を理解しようとする社会力を育む場であるべきだと私は考えます。</p>
27	40 歳代	<p>複合化に対する地域の声をしっかり反映してほしい。</p> <p>魅力ある学校づくりに期待しています。</p>
28	60 歳代	<p>◎これからの学校(老朽化のため)を考える、建てかえの予算など児童・生徒の減少について</p> <p>児童生徒の減少は働く人の減少と平行している。税金の徴収も困難、市の予算も減少と言えると建てかえの予算は確保するのは難しいと考えます。予算をどこかを削り、建てかえに力を入れる工夫が必要と考えます。</p> <p>◎パネラーの家庭環境と学校施設のギャップ、家庭の方が便利、学校施設は不便。トイレが自動的に水が流れたりしている、学校は水しか出ない。これについては児童・生徒がそれぞれ対応できる能力も必要と考えています。学校施設を家庭と同様に便利</p>

		<p>にする必要はないと思われます。(家庭科で冬に水に手を出すことに躊躇。家庭では温水。)冬は手を洗うことを拒む。</p> <p>◎学校と地域とのつながりが必要。学校と施設との複合化に望ましいと思います。</p> <p>◎学校を2校より1校の建てかえの方がコストを抑えられる、2校を1校にする、児童生徒が学校への距離が遠くなる。ということも生じる。また、学校付近にあった文具店等、打撃を受ける。むずかしい。</p> <p>◎学校と地域、出入りをして子供と接することが出来るとよい。難は不審者が出没することはどう注視したらよいかを求めます。</p> <p>◎机上の意見ではない、内容が濃く深く広がった。個々には書ききれませんでした。ありがとうございました。</p> <p>保護者が子供が誕生してから育むことを心がけが必要。基に家庭があって社会への保育所+学校への学びとなる。まずは家庭。</p> <p>基盤は家庭にあって、家庭+学校+地域の連携と考えます。</p> <p>保護者が家庭に居ても、子供への相手をしたくない事も多分にある。また、放課後の居場所について、今の子どもはおけいこ事に1つ、2つと行っている。夕方から子供の居場所を必要とするのはどの位か。</p>
29	40 歳代	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>ミライに向け課題が多くあるかと思いますが、子どものミライのためにおねがいします。</p>
30	未記載	<p>今、学校が抱えている課題は秦野市の将来にかかわる問題であることを感じました。</p> <p>学校の複合化について、興味をもちました。</p> <p>多層の方とのかかわりがもてる場は子どもたちにも、相手方の方々にもプラスになるよう、幅を考えられるとよいと思いました。</p> <p>個別も大切ですが、学校はそこで育つことは学習面だけではないはずです。</p> <p>色々な育ちについても考えるべきだと思いました。</p>
31	未記載	<p>義務教育学校、コミュニティスクール、市域学校協働活動、学校の地域ランドマーク化など、本日のシンポジウムの中には大変ロマンを感じる言葉が多く飛び交っており、一市民として未来の学校像を想像するととても興味を掻き立てられました。</p> <p>それと同時に、現在の教員の上にこれらの仕事がさらに重なって多忙化に拍車がかかってしまう危惧も考えてしまいます。新しいものと古いもの、それらを等価交換していき、新しいよりよい未来の学校教育を作り上げていくなれば、新たな取り組みを行う上では、線をキチンと引いて捨てなければならないものも多くあると思います。部活動、児童生徒指導をはじめ、考えていかなければならないことは山積みです。</p> <p>教育長も言われていたように、本日の会が市民に秦野市の未来に向けての本市の教育施策を示す第一歩になるとよいと感じましたし、市民の理解なしにこれらの施策の実現はないでしょう。次回は市民の参加を多く集める中で、このようなシンポジウ</p>

		ムを行っていければさらによいと感じました。
32	未記載	<p>様々なキーワード、義務教育学校、地域のランドマーク、コミュニティの中心等、そして山口校長先生の義務教育学校への熱い思い、CSコーディネーターの目線からの学校へ求めるもの、子ども会からの思い、若い世代からの未来の学校イメージ等々、非常に触発されるものがありました。</p> <p>自分も、10年、20年、30年先の学び舎としての学校に様々な思いを巡らせることができました。また、今後の学校の在り方についてもイメージすることができる良い機会となりました。ありがとうございました。</p>